

① 観光誘客に関して

中嶋 委員長

○県民が伊勢志摩サミット開催地であることの自信と誇りを持ち、国内外からの誘客を図る仕掛けづくり

（例）県民自らがジュニアサミット視察地、伊勢志摩サミット関連施設を巡る県民向けサミットツアーを開催。参加者は誘客アンバサダーとして登録

○首都圏の知的好奇心の高い層の誘客

（例）伊勢志摩サミット関連施設を中心に「文化聖地」のコンセプトを踏まえた旅行商品づくり

○伊勢志摩サミットで再発見した「三重県ならではの」を生かした誘客強化

（例）おもてなしの精神を生かした MICE や全国大会の誘致強化。食材、エンターテインメント、体験、スポーツなど三重県ならではの提供メニューの多様化、高度化

② 産業振興に関して

○「文化聖地」にふさわしい伊勢志摩サミット関連商品・料理の開発と一体的販売促進

（例）伊勢志摩サミット関連商品の募集、伊勢志摩サミットシールの貼付、通販用サイトの立ち上げ、三重テラスとの連携、三重県真珠振興協会とタイアップした県産真珠商品の PR

○「三重県ならではの」の商品を語り、販売できる人材の育成

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つ具体例として記入ください。

③ 次世代の育成に関して

○G7 サミットの開催に関連した国際理解教育と交流の推進

（例）毎年、G7 サミット開催地に関する学びの機会の提供と、開催国の若者世代との交流機会の創出

○児童・生徒が直接海外とふれあい、学び、ふるさつを見つめなおす機会の提供

（例）海外からの教育旅行を通じた交流、海外への修学旅行の機会増に向けた取組

④ 情報収集・発信に関して

○海外向け情報発信の強化

（例）外国人プレスツアーの継続とターゲット国に適応したプレスツアーの多様化、伊勢志摩サミット後の県内観光地を訪れる国内外セレブ情報の活用、国際的な授賞式の誘致やミスユニバースなど受賞者の招致による情報発信

○G7 サミット開催のタイミングに合わせた効果的な広報の展開

（例）イタリア・シチリア島サミット開催のタイミングに合わせて伊勢志摩サミットの開催地であったことを改めて PR

○「文化聖地」としての品格を感じる情報発信

（例）伊勢神宮と伊勢志摩国立公園をセットにブランドの核として PR

○東京オリンピック・パラリンピックでの訪日観光客をターゲットにした中期的広報戦略の策定

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

⑤ その他

○伊勢志摩サミット開催地であることの自信、誇りを県民がさらに持てる意識の醸成と具体的な行動の場の提供、提案

（例）「サミットのレガシーを生かす県民会議」を設置し、ポストサミットの取組を議論、行動する場とする

○「ポストサミット」関連イベントの拡充、支援

（例）民間団体等による「ポストサミット記念イベント」の開催呼びかけと支援。
県、市町主催イベントに「ポストサミット」の冠をつける基準づくり

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

① 観光誘客に関して

藤田 副委員長

- 1 情報発信の継続 サミットに関しての情報の一本化
 例えば、観光三重サイトを充実強化する
- 2 県民会議で培った連携を生かした観光分野での組織化及びその強化を行う

② 産業振興に関して

1. 県民会議の連携を活用して産業振興を図る
2. サミットを契機に焦点のあたった商品を含め三重の商品の情報発信の出来る施設を民間と協働で設置する
3. 三重の商品のメーカーと流通業者とのマッチングの機会の設定

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

③ 次世代の育成に関して

1. 学生の海外派遣を進める、特に職業系高校生の派遣というカテゴリーを作る。
2. 海外から学生の定期的受け入れを行う。
3. 海外派遣の経験者と県内学生との交流の場を設定する。

④ 情報収集・発信に関して

1. みえ旅パスポート、みえ食旅パスポートのカード化を進め、地域カードに結び付け情報の収集・分析を行う。

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

⑤ その他

1. 伊勢志摩サミット三重県民会議により生まれた組織間の連携を、今後の生かし方について検討部会を設置し多くの分野ごとの検討を行う。

産業振興 特に観光振興や情報収集・発信など

2. 「安全・安心」を保つための連携を生かし、地域における住民と警察、有識者（警察OBなど）による新しい組織を創設する。

千葉県の防犯ボックスなど参考に、地域の見守りのための組織づくり

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

① 観光誘客に関して

廣 委員

富裕層を対象にした海外誘客事業を推進する。
M I C E誘致等に取り組むべくP F Iを導入しDMCを立ち上げる。

② 産業振興に関して

国内外で知名度が上がっている今、伊勢志摩のブランディングを行う。
伊勢志摩サミット公式ブランドマークを製作し販促を行う。

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

③ 次世代の育成に関して

交流があった国の方々との絆を大切にする。
年間の恒例行事として国際交流イベントを開催する。

④ 情報収集・発信に関して

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

⑤ その他

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

① 観光誘客に関して

倉本 委員

伊勢志摩サミットでも重要な役割を果たした「伊勢神宮」を誘客の中心に据え、「伊勢神宮」とセットで個々の地域の魅力発信をしていくことが重要。

また、市町単位での誘客ではなく、県内をいくつかのブロックに分け、個々のブロック単位に戦略をたて市町横断的に施策を講じていくことが重要であり、その中で県は総合調整等で担うべき役割は大きい。ただ、現状において市町の取り組み状況などはかなり温度さもあり、また方向性も定まっていないような感じを強く受ける。さらには民間事業者にまでブロックごとの戦略を共有してもらい取り組みも同時に求められる。

② 産業振興に関して

伊勢志摩サミットによる知名度の向上等の結果、企業誘致の増加、国内・海外の販路開拓等々の成果は見られている。一方で個々の企業、地域に目を移すとサミット効果の広がりはまだまだ限定的であり、県内をいくつかのブロックに分けた上での市町間の連携が必要不可欠である。個々のブロックごとに課題等も見えつつあり、例えば産業観光の協力企業をより多く、広域で取り組めるように産官学の連携をとるべきであるなどの課題はまさに県が主体的に係るべきである。

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

③ 次世代の育成に関して

伊勢志摩サミット特にジュニアサミットに係った各市町においては温度差があるものの市内の高校生を対象とした国際交流事業を1つの柱にしようとする動きがあるなどサミット後の動きが見られる。一方で学校現場などはサミット後盛り上がった機運の生かし方は各校に委ねられているなど取り組み状況には差がある。こういった状況を踏まえ、ジュニアサミットに係った各市町、各学校などを中心に相互に連携をするような次世代の育成事業というものを検討すべきである。

④ 情報収集・発信に関して

県が県内各地の情報収集、発信に力を入れていくのは当然必要であるが個々の地域には地域のここを情報発信したいという部分がある。そういった地域ごとのアピールポイントを集約し、さらにはより魅力の高まるような調整をしつつ、県全体として戦略的な情報発信が重要である。

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

⑤ その他

全県的に同じような取り組みをすることは地域による温度差等々もあり、困難である。地域ごとの取り組みをしっかりと推進していくことが重要であると同時に市町単位での取り組みでは広がりが見え、各市町での連携が必要不可欠である。県が主導して県内をいくつかのブロックに分け、ブロックごとの取り組みを促していくことが重要である。

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

① 観光誘客に関して

彦坂 委員

【インバウンド】

○プロモーション関連取組の充実

- ・SNSで情報発信
- ・観光PRテレビ番組を作成し、現地で放映。
- ・多言語による海外向けインターネット情報発信
- ・知事のトップセールス

○インバウンド顧客満足度（CS）向上

- ・外国為替対策やクレジット利用施設、店舗の拡大
- ・多言語案内標識（景観に配慮したピクトグラム表記を併用）やメニュー作成支援
- ・観光資源（食、歴史、文化、伝統）の発掘
- ・言語別通訳やボランティア養成（15～外国人観光客対応人財育成）の強化

○教育旅行や企業コンベンション誘致として、宿泊費の補助制度の創設

【全体】

- 各地域で取り組んでいる活動（伊勢志摩インバウンド協議会、伊賀上野観光協会、伊賀鉄道、美杉リゾート、鳥羽市・志摩市等の海女文化）への更なるバックアップ
- クルーズ市場の拡大に的確に対応し、クルーズ客受入体制の整備促進し、船会社へのセールスを強化

② 産業振興に関して

- 「己を知ること（強みの深堀）」「情報発信」「マーケティング」の強化
- 海外展開については、海外駐在など海外に精通した人材の登用
- 製品のブランド化を進める
- 海外で開催される国際見本市や国内の見本市への出展支援
- 新たな販路開拓するため、海外への経済ミッション団の派遣

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

③ 次世代の育成に関して

- サミットが開催されたことを次世代にまで受け継ぐ活動
- 外国人と肩ひじの張らない自然なふれあいができる人材の育成
- 海外留学への積極的な支援
- 地域の自然、食、歴史、伝統を守る教育の推進

④ 情報収集・発信に関して

【情報収集】

- 国内外問わず、様々な団体と交流して、旬なニーズを把握する
- 事業者が集めたいデータの収集への支援
- 個々が収集したデータの共有化（同業は難しいが・・・）

【情報発信】

- 県内大学の留学生等に三重の紹介記事をブログやSNS等で情報発信してもらう事業の展開
- 首都圏など外国人が多く集まる地域で、空港・ターミナルに広告

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

⑤ その他

- 次世代を担う、子どもや若者に「サミットを生かした事業」を募集
- サミット開催地であることを、発信し続ける

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

① 観光誘客に関して

濱井 委員

2016年(1月～9月)の延べ宿泊者数は、748万人(前年同期比+8.9%)、うち、外国人は、29万人(同+10.8%)、伊勢神宮の参拝者数(1月～10月)は、735万人(同+3.7%)、うち、外国人は、9万3千人(同15.9%)と堅調に推移している。また、我が国は、観光立国として東京オリンピック・パラリンピック開催の2020年までに、訪日外国人旅行者数を4000万人にする目標を立てている。この機会に、外国人旅行者を始めとして、国内観光者の取組も図っていくべきである。「日本版DMO」の創設と事業開始が急務である。

② 産業振興に関して

グローバル化した国際競争において、海外との連携や観光産業の振興・誘客促進、伊勢志摩サミット開催による国際観光地としてのレベルアップに加えて、三重県そのものの知名度向上が、地域の総合力向上につながる。三重県の「食材、食文化」「自然・地域資源」、「精神性(だれでも受け入れる)」・「自然、平和、祈りが調和している日本文化」等について、集中的に発信すべきである。しかし、開催効果が継続、改善できるかは、ここ1～2年の取組が重要である。

具体的には、サミット食材等に活用された松阪牛・伊賀牛、伊勢茶、日本酒、天然水やブランド化した農林水産物の戦略的な海外への販路拡大や伊勢志摩、伊賀忍者、伊勢神宮、熊野古道伊勢路などを活かした観光産業化である。また、サミットの経験と、世界中に広まった本県の知名度を活かして、国際会議などのMICE誘致などの取組を積極的に行っていく。

航空宇宙産業、環境・エネルギー関連産業、人工知能・ロボット産業にも力を入れるべきである。

サミットでは、産業経済界や様々な主体が連携協力することによって成功裡に終わることができた。このレガシーである連携協力こそ今後の本県での産業振興に貢献すると考える。

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

③ 次世代の育成に関して

グローバル社会で生き抜くために、国際理解・国際交流プログラムや大学生サミットのような県内外の学生・留学生等の交流・理解の機会を継続していくべきである。また、航空宇宙産業、環境・エネルギー関連産業、人口知能・ロボット産業など将来の三重の産業推進のためには、教育現場での人材育成や企業内での後継者育成支援にも力を入れるべきである。

9月23日、24日に開催されたWIT2016で、学生が生き方や働き方を考えて発表した。このような機会も継続性が必要である。

全てにおいて、継続性が重要である。

④ 情報収集・発信に関して

三重県中国サポートデスクのような仕組みをASEAN各国にも拡大することによって、ASEAN各国との連携や企業間のネットワーク化、三重県の魅力発信を行っていく。

「伊勢志摩サミット三重県民宣言」では、4つの決意として、「親和」「調和」「和の文化」「平和」を掲げている。県民にもっと周知・啓発し共有すべきであろう。

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

⑤ その他

サミット開催時等で様々な場所で活躍された多くの外国語案内ボランティアが、今後も活躍できる場づくり・体制づくりに取り組んでいく。グローバルな人材育成を図っていくことが必要である。

サミット開催中にテロ等の発生もなく無事に済んだことが成功に繋がった。警察や自衛隊など関係機関などには敬意を表したい。同時に県民や様々な事業者、地域団体などの理解と協力を忘れてはいけない。この経験を安全安心な県民生活のために活かしていくべきである。是非とも、犯罪から県民を守るアクションプログラムなどの実効性のあるものを策定して欲しい。

本特別委員会の中間報告でも述べたが、サミット開催で創出されたチャンスを継続したビジネス等に発展させるためには、企業、団体や地域が主体的に動きやすい環境づくりが必要で、そのための仕組みや仕掛けの整備、効果が県内全域に波及していく取組が必要である。

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

① 観光誘客に関して

長田 委員

観光地における WiFi 等の通信インフラの整備の促進

② 産業振興に関して

サミットで使用された三重の食材をはじめとする三重県産品の販路を拡大することによる実感として感じられる経済効果の創出にむけた施策の実施

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

③ 次世代の育成に関して

④ 情報収集・発信に関して

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

⑤ その他

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

① 観光誘客に関して

山本（勝）委員

- 産業観光・教育観光の発掘を積極的に推進し、その窓口は県を中心に広域的な体制でさまざまなニーズに対応する。（桑名の企業「エイベック」を参考に）
- マーケティングの情報は積極的に収集して、行政・旅行業者・関係団体等が常に共有する。
- 本県には地域を代表する「イメージ料理」が根付いていない。積極的に発掘とPR。例えば、桑名の「はまぐり料理」、志摩・鳥羽の「アワビの日本料理」……庶民が手軽に食べられる料理

② 産業振興に関して

- サミットを契機に、県産食材の輸出はもとより、酒の輸出も積極的に支援して、ワインとかウィスキーに打ち勝つ秘策を考えてゆく。
- 又、酒等、脚光をあびた品目のコンテスト大会も県と業界で開催して根付かせては！

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

③ 次世代の育成に関して

○サミットを契機に国際人の交流、通訳の必要性等、世界に目を向ける教育気運が高まった。

引き続き、気運がとぎれる事なく、国際交流事業の実施なり、国際理解教育を積極的に、県の目玉として取り組んでは！

④ 情報収集・発信に関して

○MICE誘致は積極的に展開すると言いながら、県の活動はまだまだ不透明である。

情報収集はされていると思うが、市町・企業・商工会等、届くべき部所に必ず情報が伝達され、県内全体がかみ合っていく体制づくり。

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

⑤ その他

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

① 観光誘客に関して

中川 委員

- ①インナー誘客の充実
- ②バリアフリー観光の充実
- ③多言語の充実
- ④スポーツ誘客の充実
- ⑤イベントの充実 ～ ex「常若婚」の普及発展
- ⑥インバウンド ～ 「ジャパンハウス」の連携
- ⑦M I C E誘致

② 産業振興に関して

県内の第3次産業、とりわけ「観光」を県内の基幹産業として定着させる。
その基本は「人材」であり、サービス産業に関連する人々の「人件費のUP」「正規雇用」「質の向上」を図ること

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

③ 次世代の育成に関して

①県内の子どもたちに県内の素晴らしい「文化」を継承発展させる。

ex いせっ子、子育て事業の充実

②子どもの時から地域の産業・文化を親しみ（ex「伊勢音頭」）、将来は県内の語り部、観光大使として活躍できる様な「未来への投資」を子どもたちに教育させる。

④ 情報収集・発信に関して

電子媒体の充実

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。

⑤ その他

伊勢志摩サミットを通じて、日本人の心のふるさと伊勢、特に「神宮」が今日まで政教分離の建て前の中で見られていた。これを契機として「神宮」が文化の拠点・聖地として確かな位置づけを図る。

※ 県として取り組むべき方向性を中心に記入ください。具体的な事業について記入される場合は、取り組むべき方向性の一つの具体例として記入ください。